

●点検・取付について

○取付前に次の点をご確認ください。

- ・銘板の形式、出力または入力、電圧、周波数などがご注文どおりのものか。
- ・輸送中の事故などで破損または変形していないか。

○本製品は強固な場所に完全に取り付けてください。弱い場所に取付けますと共振を起こし、インペラの破損事故や騒音発生の原因となります。

○取付け姿勢は、軸水平取付けが標準となります。注文された取付け姿勢にて取付けてください。

屋上換気扇に関しては軸上のみとなります。

○モータの絶縁劣化等は、漏電、感電または火災の原因となります。機器の寿命や破損防止を考慮し、ほこり、腐食性及び爆発性ガス、塩分、湿気、結露などがなく、屋内設置型に関しては風雨や直接日光が当たらないようにしてください。

○インバータでご使用になる場合は、異常振動回避の為、送風機・モータ・送風機+基盤など、固有値の共振周波数をインバータの設定により、ジャンプさせてください。400V級のモータは、サージ対策した絶縁強化品を使用する必要があります。

※防爆製品についてはインバータ運転不可です。

○製品の取付け後、試運転をして回転方向があっているか確認してください。

○ドレン穴が付いている製品は確実に排出するように設置してください。排出がスムーズにされないと、ケーシング内に水などが溜まり、始動時に過負荷運転となり、焼損及び羽根車の破損等の原因となる可能性があります。

○高湿度で温度変化のある環境や急激な温度変化のある環境では下向になったドレンプラグを、取外してご使用ください。

○製品の取付けの際は必ず強固なところに設置してください。

○K T型、B R型、A F型等の、フランジ接続を行う機種を屋外で使用される場合は、フランジ接合部より雨水の浸入の可能性がある為、フランジ接合部にコーキング剤を塗布してください。

○ご使用の設備は、定期的に点検及び各部品のメンテナンスを行い、維持管理を行ってください。

○モータは一定年数を超えて使用されますと、経年劣化による発火等の事故に至るおそれがあります。

■ 日常点検

・振動、音響、電流値等について点検してください。

平常と異なる場合は故障の前兆ですので早めに処置することが必要です。そのために、運転日誌を付けられることをおすすめします。

・振動が大きい場合は、無理な配管、取付ボルト、基礎ボルトの緩み、インペラへのダストの付着、軸受の損傷等が原因ですので運転を停止して点検してください。振動の許容範囲はJIS B 8330の良以内であれば、正常運転です。(右図参照)

ただし、防振装置付きの場合は、基礎に振動が伝達しない反面、送風機本体の振動がやや大きくなります。この場合は破線以内でなら正常です。

・振動と同じく音響も運転状態を判定する重要な要素です。回転体が接触する金属音の時は、直ちに運転を停止してください。

・軸受からは、正常でもある程度音が出ます。複雑な軸受音から異常音を判断するのはなかなか困難ですが、十分注意し異常を早期に発見するようにしてください。

■ 定期点検



警告

送風機の点検の際には、必ず元電源を遮断してください。自動運転等で送風機が急に始動することがあり非常に危険です。

定期点検は少なくとも1年に1度は行ってください。

点検内容は日常点検の項目のほかに、次の点検に注意してください。

- ・インペラとモータ軸嵌合部にガタツキがないか確認してください。
- ・インペラ、軸等の腐食、摩耗を調査してください。
- ・送風機内部の清掃、錆止め等の補修をしてください。
- ・モータの絶縁抵抗が低下していないか確認してください。10MΩ以上必要です。

